

問6から問8までは、問5で1～11のいずれかに○印をつけた方のみにお聞きします。

問6 その学習はどのような方法でしたか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 206人

<今回調査>

この1年間に学習活動をした人に対して、どのような方法で学んだか質問をしたところ、「図書、雑誌、新聞、テープ、CDなどを利用した学習」が40.3%と最も高く、以下「自主的な団体や同好のグループ・サークル」が24.3%、「テレビ・ラジオの講座」が22.8%、「パソコン・タブレット端末などを利用したインターネット学習」が21.4%となっています。

男女別で見た場合でもほぼ同じような傾向ですが、女性の第2位が「民間の教室、カルチャーセンターなどで行っている講座」となっています。

年代別で見た場合、20歳代では「テレビ・ラジオの講座」と「図書、雑誌、新聞、テープ、CDなどを利用した学習」が最も高く、30歳代～60歳代では「図書、雑誌、新聞、テープ、CDなどを利用した学習」、70歳以上では「自主的な団体や同好のグループ・サークル」が最も高くなっています。

<前回調査との比較>

前回調査では、「図書、雑誌、新聞、テープ、CDなど」が16.7%、「自主的な団体や同好のグループ、サークル」が14.1%となっています。また、前回調査での設定はありませんが「パソコン・タブレット端末などを利用したインターネット学習」は時代の変化とともに、現在、若い世代から活用が広がっています。

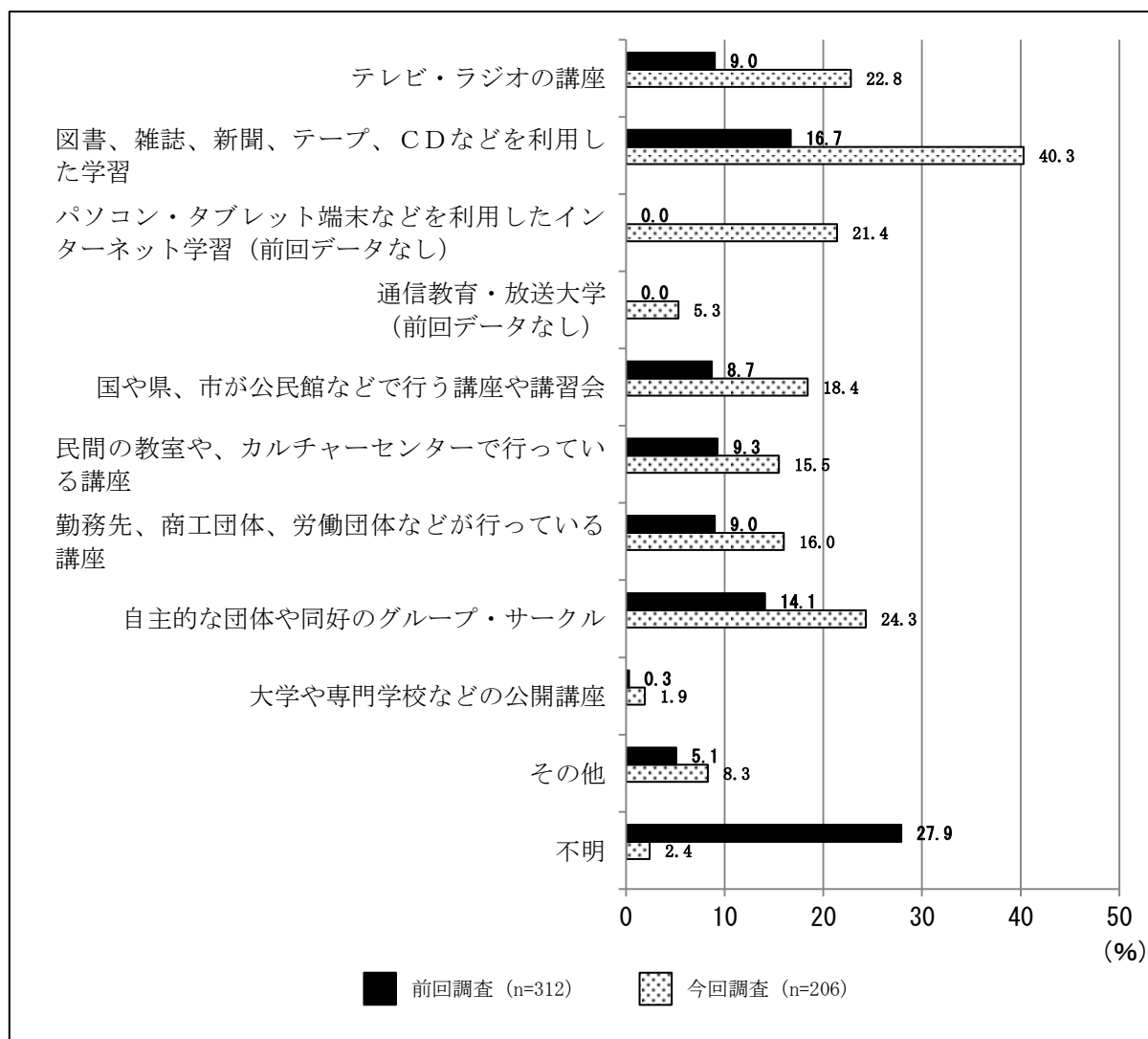
<他の調査との比較>

国が行った調査では、「公民館や生涯学習センターなどの公の機関における講座や教室」が40.5%と最も高く、以下「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」が34.0%、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育」30.6%、「職場の教育、研修」が27.5%、「自宅での学習活動（書籍など）」が27.4%となっています。

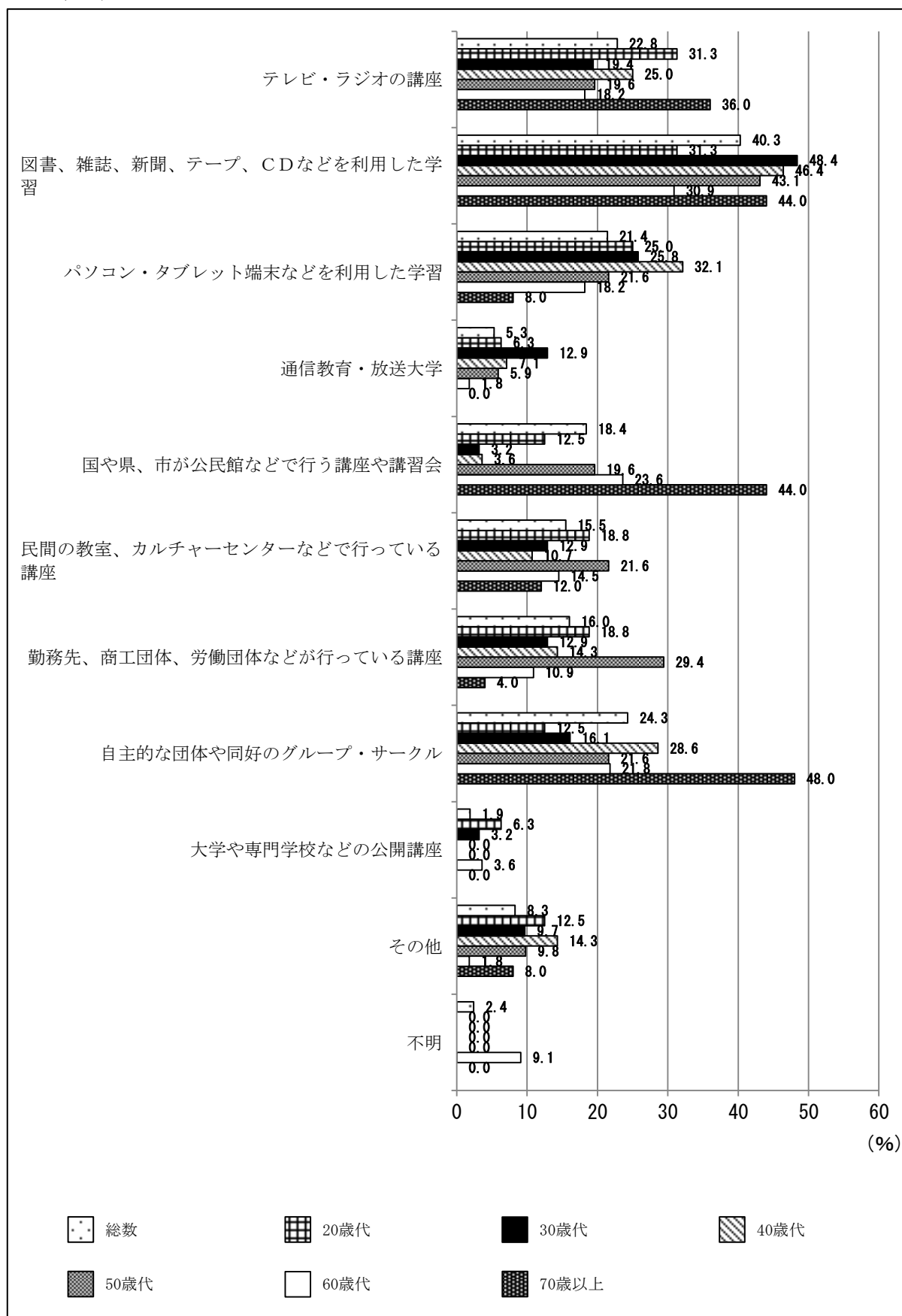
県が行った調査では、「同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動」が41.6%で最も高く、以下「自宅での学習活動（新聞・雑誌等の出版物を利用）」が35.0%、「公民館などでの県や市町村などが行う学級・講座」が27.4%、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座」が26.1%となっています。

国や県の調査と比較すると、三条市では、自主的な方法で学習活動をする傾向にあることがうかがえます。

<前回調査との比較>



<年 代 別>



問7 その学習機会はどのようにして知りましたか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 206人

<今回調査>

この1年間に学習活動をした人に対し、学習機会を知った方法について質問したところ、全体では「新聞や雑誌」が29.1%と最も高く、以下「グループ・サークルや友人を通じて」が24.3%、「テレビやラジオ」が22.8%、「広報さんじょう」が21.8%となっています。

男女別で見た場合に、大きな差異はありません。

年代別で見た場合、20歳代、40歳代では「テレビやラジオ」と「その他」が最も高く、30歳代では「市以外のホームページ」、50歳代、60歳代では「新聞や雑誌」、70歳以上では「広報さんじょう」となっています。

<前回調査との比較>

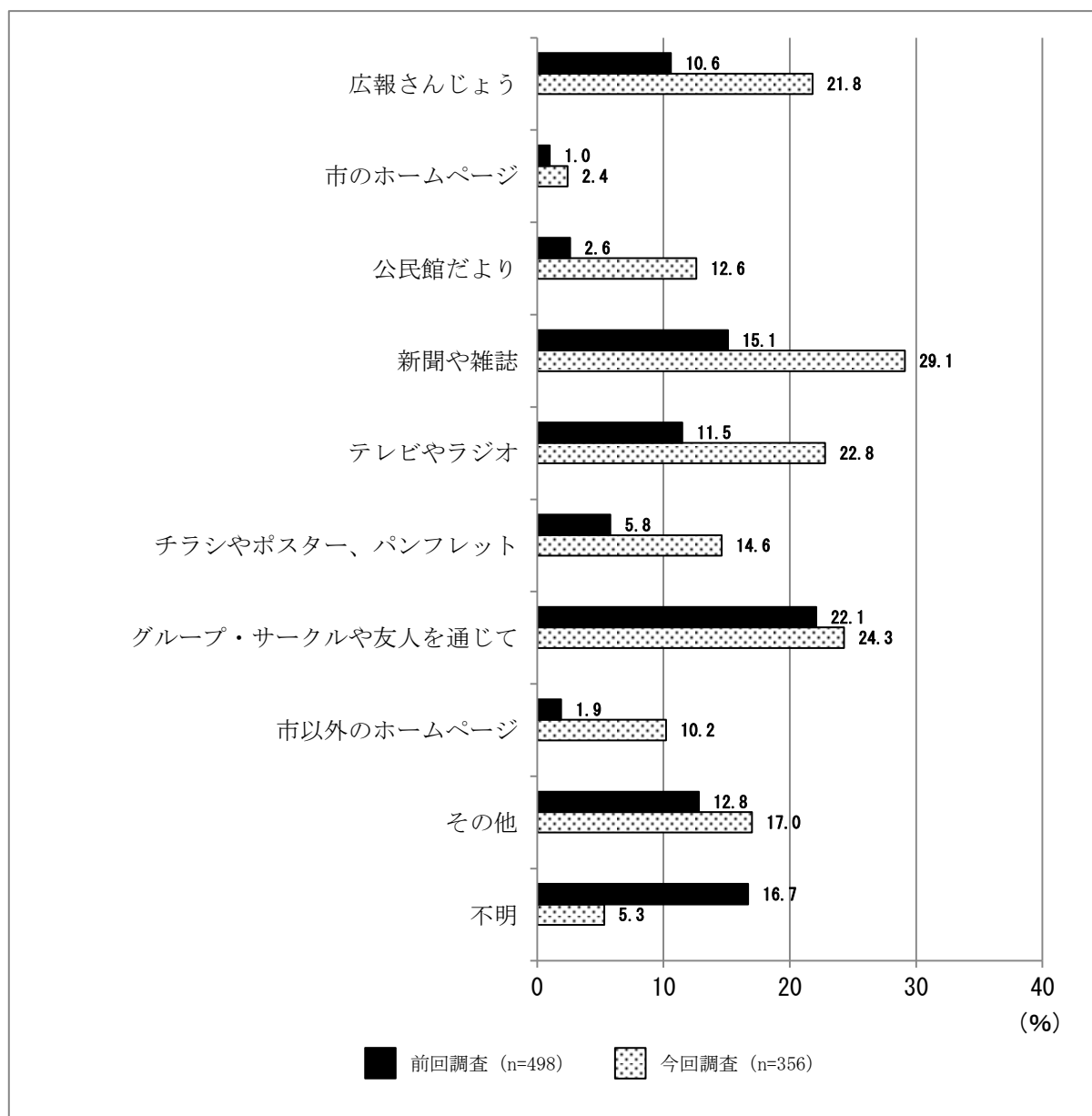
前回調査では、「グループ、サークルや友達を通じて」が22.1%と最も高く、以下「新聞や雑誌」が15.1%、「その他」が12.8%、「テレビやラジオ」が11.5%、「広報さんじょう」が10.6%となっています。単数回答であったので純粋な比較はできませんが、情報を得る媒体はさほど変化していないようです。

<他の調査との比較>

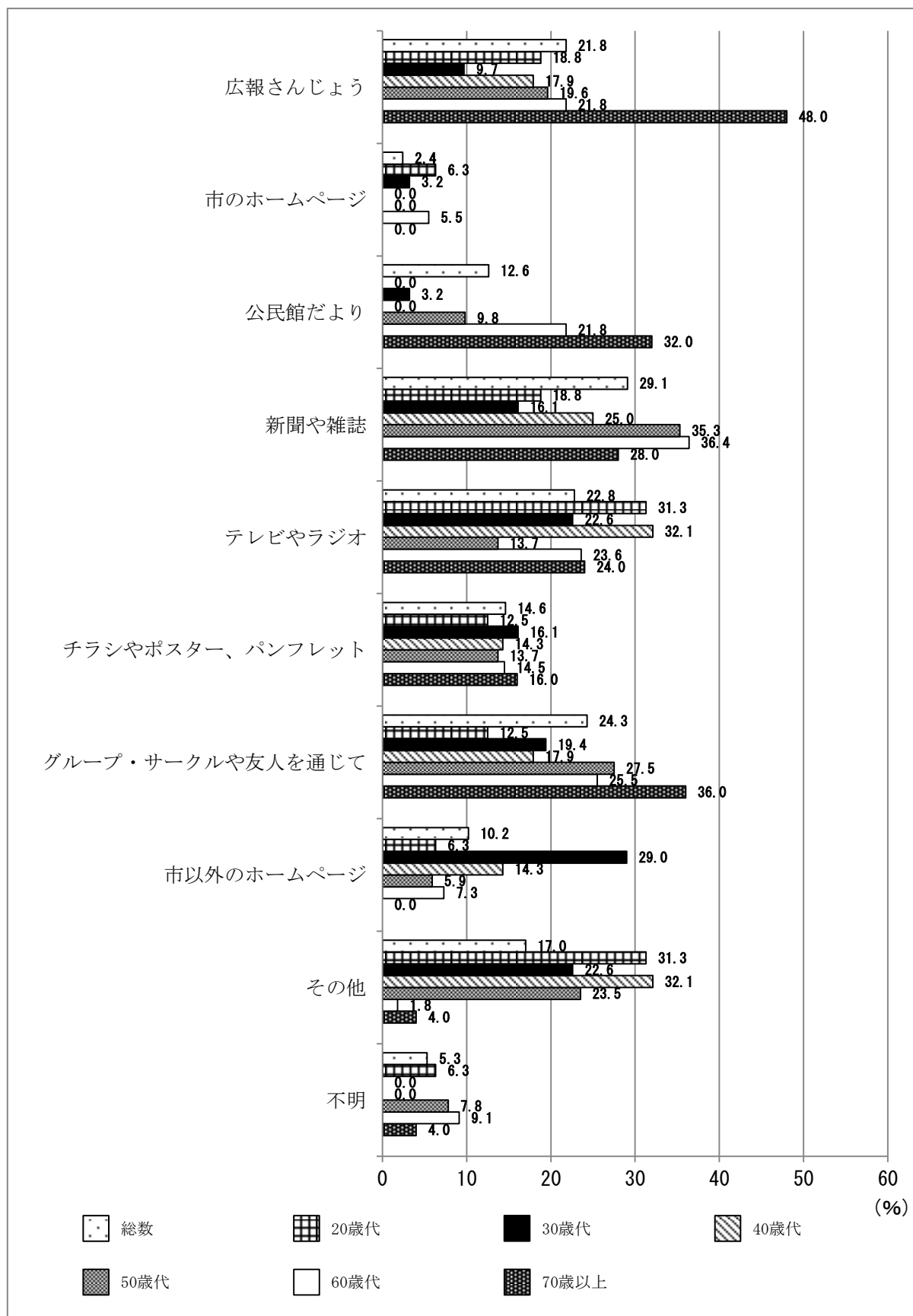
国が行った調査では、「新聞、雑誌」が43.5%で最も高く、以下「家族や友人、知人からの口伝え」が35.1%、「情報端末やインターネット」が34.3%、「テレビやラジオ」が31.4%などとなっています。全国的な傾向と三条市の傾向に大きな差異はみられません。

県が行った調査では、「市町村などの広報誌で」が57.5%で最も高く、以下「新聞、雑誌で」が50.1%、「チラシ、ポスター、パンフレット等で」が31.8%、「インターネットで」が28.9%、「テレビ・ラジオで」が28.7%となっています。三条市の傾向と大きな差異はみられません。

<前回調査との比較>



<年 代 別>



問8 あなたが学習活動をした結果、あなた自身にどのような変化がありましたか。
あてはまるものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 206人

<今回調査>

学習活動をして、自分自身にどのような変化があったかを質問したところ、全体では「学びを通じて充実感・満足感が得られた」が54.4%と最も高く、以下「知識や技術が高まり、生活が向上した」が26.7%、「自分自身の生き方やものの考え方が大きく変わった」が23.8%となっています。

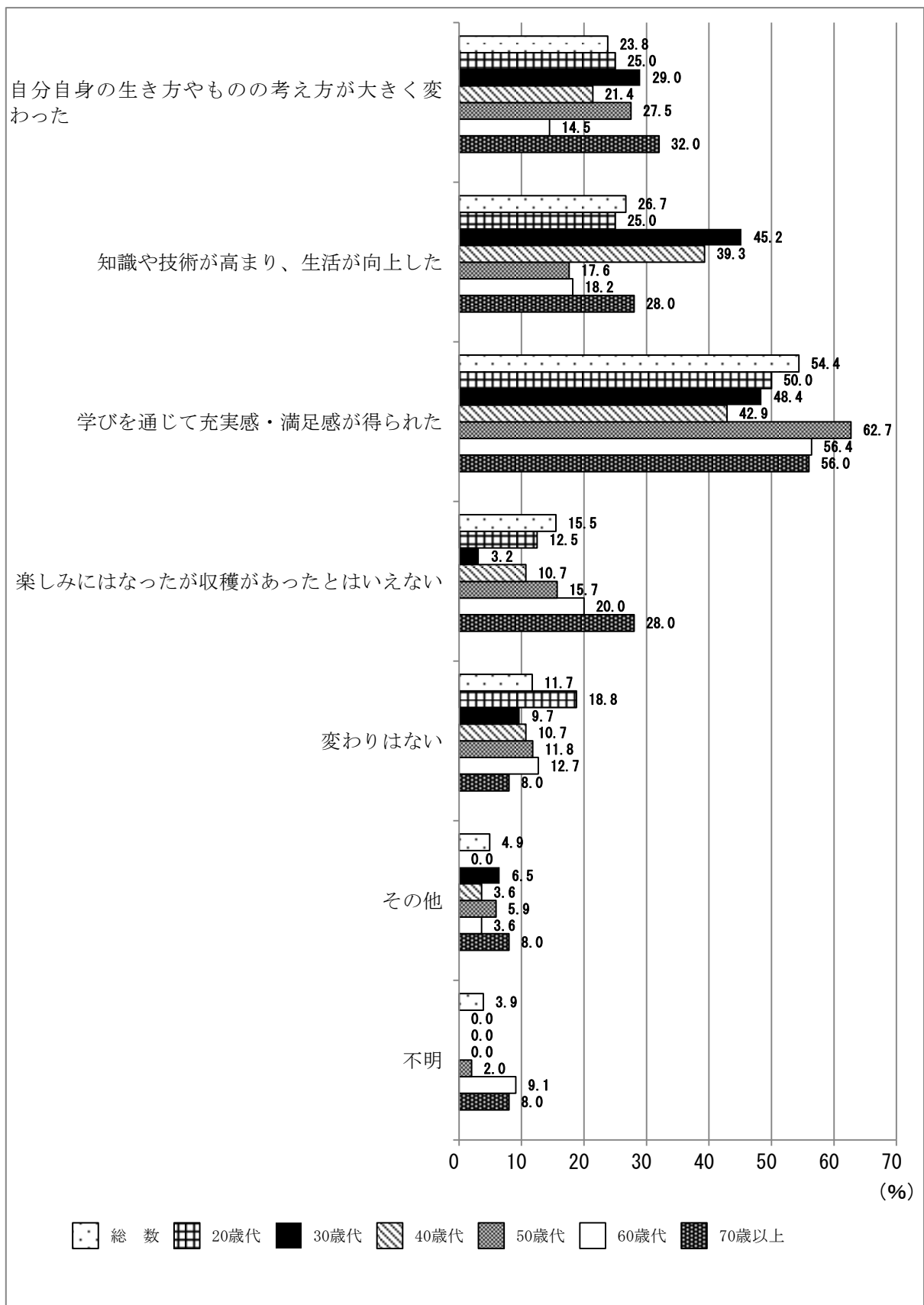
男女別で見た場合、差異はありません。

年代別で見た場合、全ての年代において「学びを通じて充実感・満足感が得られた」が最も高く、全体の傾向とほぼ同じ結果となっています。その一方で、60歳代、70歳以上では「楽しみにはなったが収穫があったとはいえない」の回答率も高く、成果には満足していない方もいることがうかがえます。

<他の調査との比較>

国が行った調査では、行った生涯学習について満足しているかどうか質問しており、「満足している」と答えた方が90.1%（「満足している」41.5%+「どちらかといえば満足している」48.6%）、「満足していない」と答えた方が9.4%（「満足していない」2.1%+「どちらかといえば満足していない」7.3%）となっています。

<年 代 別>



問9は、問5で12に○印をつけた方のみにお聞きします。

問9 特に学習をしなかった理由は何ですか。あてはまるものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 143人

<今回調査>

この1年間に特に学習活動をしなかったと答えた人に、その理由を質問したところ、全体では「学習する時間がない」が46.9%と最も高く、次いで「講座などの時期、時間が合わない」が23.8%、「学習する必要を感じない」が19.6%、「一緒に学習する仲間がない」が18.2%となっています。

男女別で見た場合、男女とも1位は「学習する時間がない」、男性の2位は「学習する必要を感じない」で30.4%、以下「自分の希望する学習内容がない」「一緒に学習する仲間がない」がそれぞれ16.1%となっています。女性の2位は「講座などの時期、時間が合わない」で34.1%、「一緒に学習する仲間がない」が20.0%となっています。

年代別で見た場合、20歳代以外は「学習する時間がない」が最も高く、20歳代は「費用がかかりすぎる」や「その他」の理由が挙げられています。

<前回調査との比較>

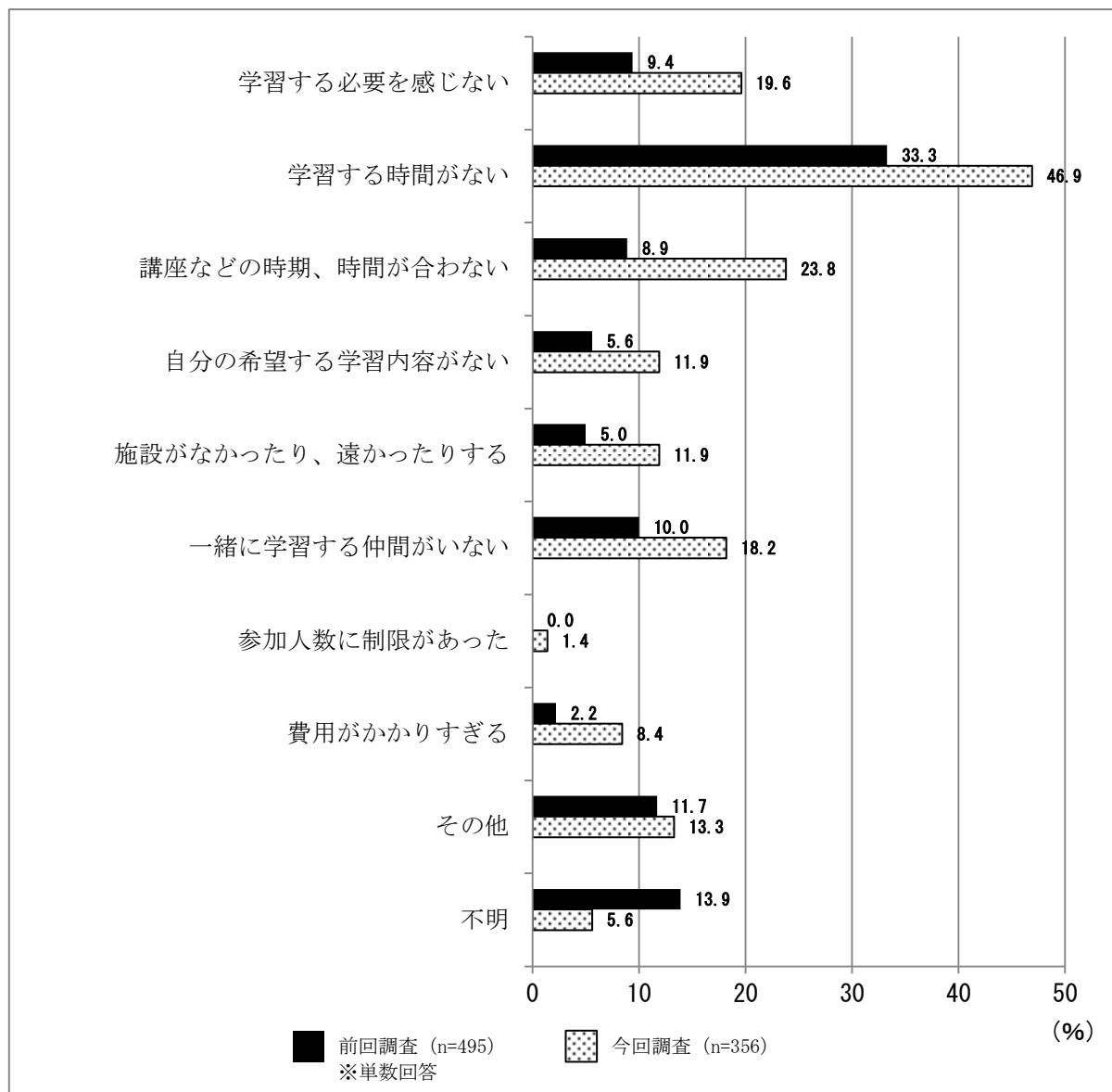
前回調査では、「学習する時間がない」が33.3%と最も高く、以下「一緒に学習する仲間がない」が10.0%、「学習する必要を感じない」が9.4%となっています。前回は単数回答だったので単純に比較はできませんが、傾向に大きな差異はみられません。

<他の調査との比較>

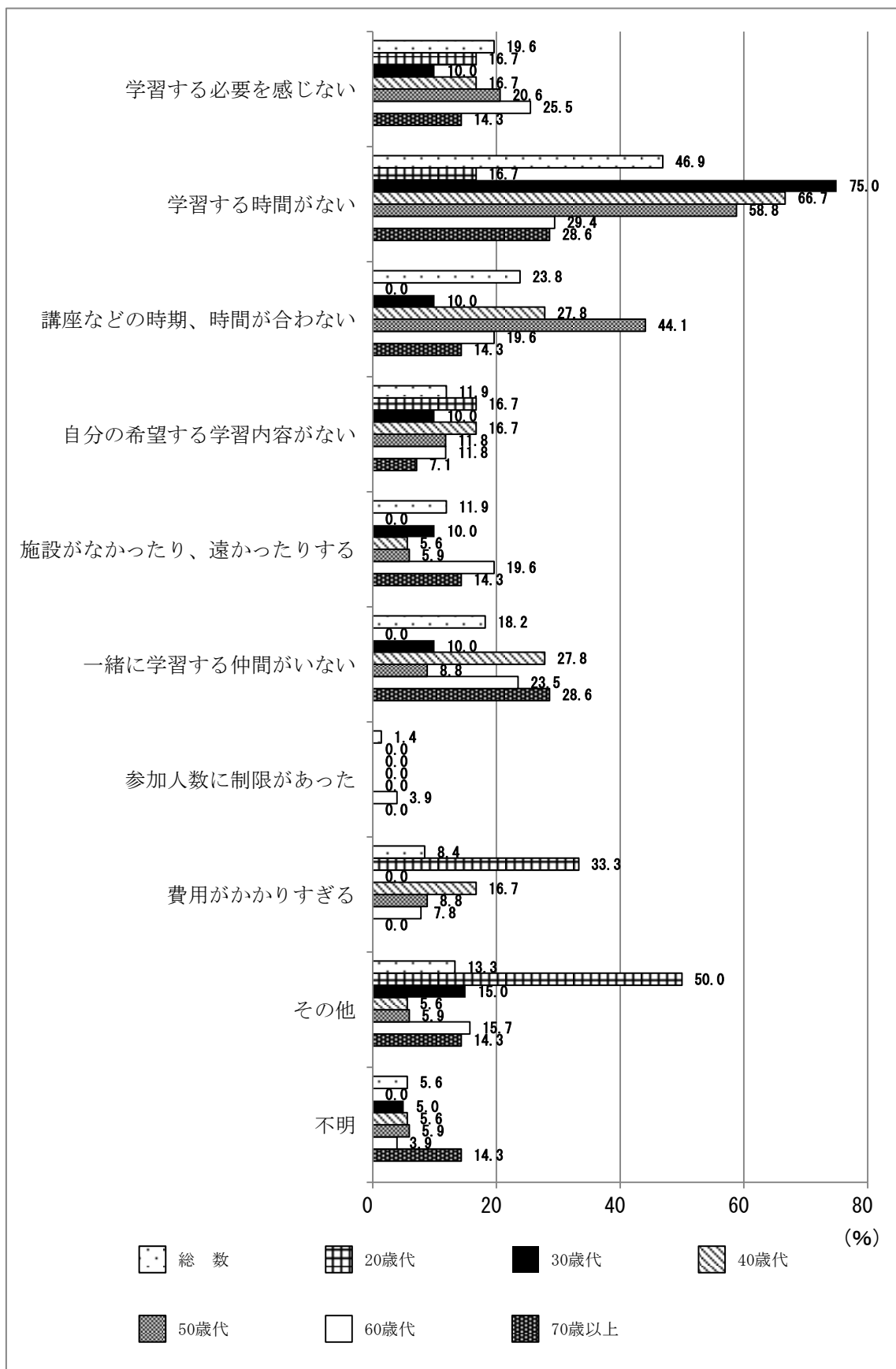
国が行った調査では、「仕事が忙しくて時間がない」が43.4%と最も高く、以下「きっかけがつかめない」が20.9%、「家事・育児などが忙しくて時間がない」が16.2%となっています。全国的に、学習する時間がとれない人が多い傾向にあることがうかがえます。

県が行った調査では、「仕事や家庭が忙しくて学習の時間がとれない」が51.1%で最も高く、以下「どこでどのような学習ができるのか、学習の機会などに関する情報が不足している」が24.9%と「学習に関心がない、学習する必要性を特に感じない」が19.8%となっています。

<前回調査との比較>



<年 代 別>



問10からは、再び全員にお聞きします。

問10 あなたは、今後どのような目的で学習をしたいですか。あてはまるものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

回答者数 356人

<今回調査>

今後、どのような目的で学習をしたいか質問したところ、全体では「健康保持のため」が39.6%と最も高く、以下「趣味を深めるため」が32.9%、「生活や職業に役立てるため」が20.5%、「自由時間を活用するため」が19.9%となっています。

男女別で見た場合、男性は「趣味を深めるため」が最も高く、女性は「健康保持のため」が最も高くなっています。また、女性の第3位として「友人や仲間を得るため」が22.0%となっており、女性は仲間づくりを目的として学習活動をしている方が多い傾向にあります。

年代別で見た場合、30歳代、40歳代は「生活や職業に役立てるため」が最も多く、50歳代、60歳代、70歳以上は「健康保持のため」が最も高くなっています。また20歳代は「趣味を深めるため」「健康保持のため」「生活や職業に役立てるため」が最も高くなっています。

<前回調査との比較>

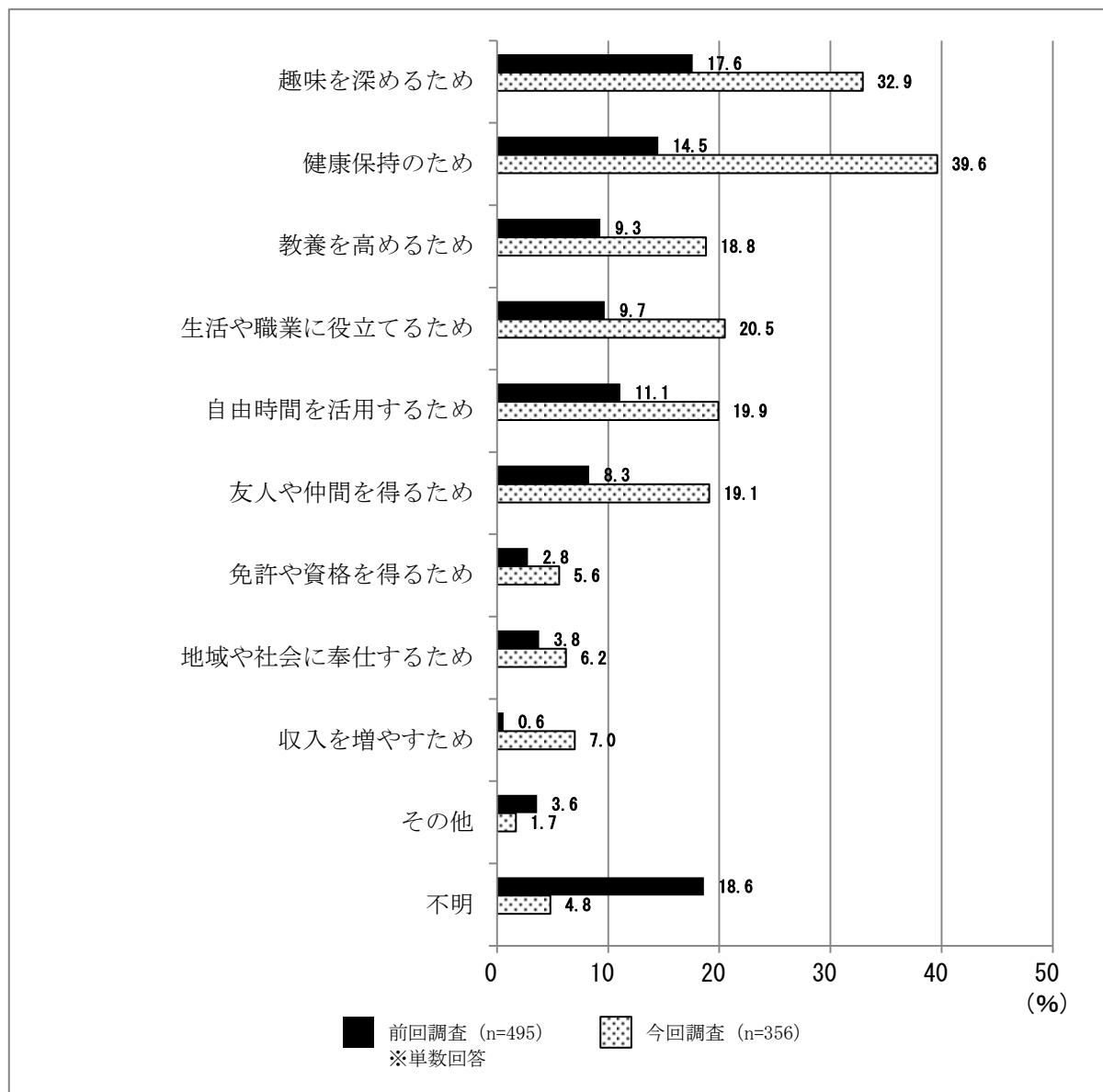
前回調査では、「趣味を深めるため」が17.6%と最も高く、以下「健康保持のため」が14.5%、「自由時間を活用するため」が11.1%、「生活や職業に役立てるため」9.7%などとなっています。前回調査は単数回答だったので単純に比較できませんが、健康を意識して学習する方が増えてきていることがうかがえます。

<他の調査との比較>

国が行った調査では、何のために生涯学習をしているかを質問しています。その中で、「その学習が好きであったり、人生を豊かにするため」という回答が59.4%と最も高く、以下「健康の維持・増進のため」が48.8%、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」が42.3%、「自由時間を有効に活用するため」が34.6%などとなっており、三条市の傾向とほぼ同じであると言えます。

県が行った調査では、「体力づくりや健康管理のため」が44.0%で最も高く、「高齢期の生活の豊かに過ごすため、生きがいのため」が31.9%、「趣味、芸能、芸術などを楽しんだり、技能を高めたりするため」が30.5%、「知識・教養を高めるため」が19.0%となっており、三条市と比較しても大きな差異はありません。

<前回調査との比較>



<年 代 別>

